

防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案要綱

一 自衛官の給与体系その他の給与の在り方についての検討

政府は、国際情勢の複雑化に伴い自衛隊の任務が多様化する中で、自衛隊がその任務を適切に遂行するためには、自衛官が意欲と誇りを持って職務に従事することが重要であることに鑑み、自衛官の給与体系その他の給与の在り方について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

(附則第十一項関係)

二 施行期日

この法律は、公布の日から施行すること。

◎防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案新旧対照表

○防衛省の職員の給与等に関する法律（昭和二十七年法律第二百六十六号）〔抄〕

（傍線部分は改正部分）

改正案	現行
<p>1 10 〔略〕</p> <p>11 政府は、国際情勢の複雑化に伴い自衛隊の任務が多様化する中で、自衛隊がその任務を適切に遂行するためには、自衛官が意欲と誇りを持つて職務に従事することが重要であることに鑑み、自衛官の給与体系その他の給与の在り方について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。</p>	<p>1 10 〔略〕</p> <p>〔新設〕</p>